

立川市街路樹あり方方針 原案



令和 2 (2020) 年
立 川 市

目 次

序章 はじめに	1
---------	---

第Ⅰ章 立川市の街路樹

第1節 街路樹の現状	4
1 整備の状況	4
2 本市の街路樹の特性	5
3 特徴的な街路樹	10
第2節 維持管理の状況	14
1 維持管理業務	14
2 市民の関わり方	16

第Ⅱ章 街路樹の課題

第1節 街路樹の生育に関する課題	18
1 生育上の課題	18
2 生育環境の課題	20
第2節 街路樹の維持管理に関する課題	21
1 維持管理費に関する課題	21
2 維持管理の質の確保に関する課題	22
3 維持管理における市民との関わり	23
第3節 上位・関連計画における街路樹の位置づけと課題	24

第Ⅲ章 街路樹のあり方方針

第1節 街路樹のあり方の検討	26
1 街路樹のあり方方針	26
2 街路樹のあり方方針における基本的な考え方	28
第2節 本市が目指す街路樹	30

第Ⅳ章 維持管理等方針

第1節 植栽の方針	34
1 街路樹の計画	34

2	植栽形態	35
3	植栽間隔・密度	37
4	植栽基盤	37
5	樹種選定	40
第2節	維持管理の方針	41
1	街路樹の望ましい姿	41
2	維持管理の考え方	42
3	管理の目標	43
4	街路樹のバランス	44
第3節	街路樹の保全・再整備	47
1	街路樹の維持管理における保全と再整備の考え方	47
2	サクラ・ケヤキの保全・再整備	50
第4節	保全・再整備の方法	51
1	樹形の作り直し	51
2	空洞・腐朽部処理	56
3	間引き	57
4	植栽基盤改良	58
5	根系切除	60
6	樹木保護	60
7	更新	62
第5節	その他維持管理における様々な対応	64
1	市民要望への対応	64
2	気象災害への対応	64
第Ⅴ章 街路樹と市民参加との関わり		
第1節	街路樹と市民参加	66
1	市民参加のあり方	66
2	市民参加の可能性	67
第2節	市民との新たな関わりに向けて	70
第Ⅵ章 あり方方針の具現化の進め方		
第1節	あり方方針に基づいた街路樹の維持管理	72
1	街路樹の魅力を高めるための方策	72

2	街路樹の質を高めるための方策	73
3	街路樹との関係性を深めるための具体例	75
第2節	路線の評価と保全・再整備	76
1	路線の評価	76
2	優先的に保全・再整備が必要な路線	81
第3節	街路樹の再生	93
1	街路樹再生の進め方	93
2	街路樹再生における市民との合意	96
資料（方針図）		98

序章 はじめに

街路樹は、街にうるおいを与える一方で、大木化に伴う歩行空間の狭小化、道路標識等の視認低下、街路灯の照度低下、歩道の根上がり、老朽化に伴う倒木・落枝など市民生活の安全面に影響を与えています。

「立川市街路樹あり方方針（以下、「あり方方針」という。）」は、令和2年度の改定の「立川市緑の基本計画」と整合を図りながら、立川市（立川市道）の街路樹が抱える課題を抽出し、立川市が管理する街路樹のあり方を示し、植栽・維持管理・更新・間引き等（以下、「維持管理等」という。）の方針をまとめたものです。

あり方方針では、本市における街路樹の現状と課題を整理し、本市の街路樹のあり方と目標を明らかにしました。その上で、本市が目指す街路樹の維持管理に向けた基本的な考え方、本市が目指す街路樹を示しました。また、街路樹の植栽、維持管理、さらに、本市の街路樹に関する様々な課題に対し、街路樹の保全と再整備の方法や、街路樹を取り巻く市民との関わりについて整理しました。

あり方方針における様々な検討をもとに、本市の街路樹の魅力を高める方策、質を高める方策、街路樹の再生に向けた取組について具体的に示しています。

あり方方針では、本市の街路樹本来の機能を十分に発揮させるためにも、地域や沿道の環境や安全性に配慮し、市民との協働により愛着が持たれる街路樹を目指していきます。

第 I 章 立川市の街路樹



第1節 街路樹の現状

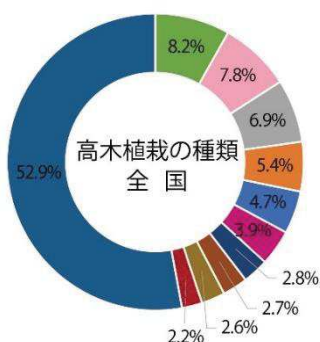
1 整備の状況

立川市には、86 路線、4,628 本、35 種類の街路樹が植えられています（平成 31 年 3 月現在）。

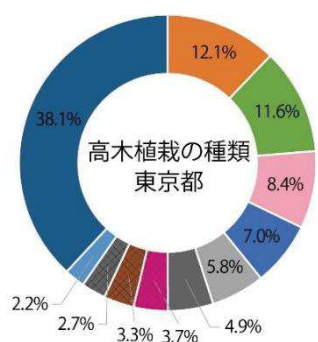
樹種別本数では、トウカエデ、ハナミズキ、ケヤキ（市の木）、カツラ、コブシ（市の花）が上位を占めています。樹種は落葉樹が多く、植栽樹種上位 10 位に常緑樹はなく、11 位以下にタイサンボク、アラカシ、マテバシイなどの常緑樹があり、常緑樹がまとまって植栽されている路線は 3 路線のみです。全国、関東、東京都に比べて立川市の街路樹では、カツラ、コブシが多いことが特徴的です。

表 1-1：立川市の路線ごとの植栽種類 上位 10 種

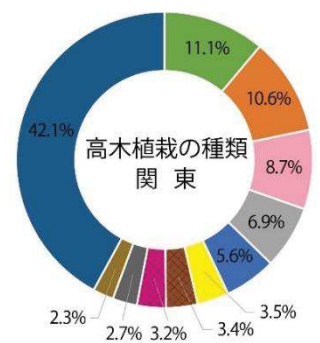
順位	樹種	植栽本数	備考
1位	トウカエデ	862	落葉広葉樹、中国原産
2位	ハナミズキ	689	落葉広葉樹、北米原産
3位	ケヤキ	608	落葉広葉樹、本州～九州
4位	カツラ	429	落葉広葉樹、北海道～九州
5位	コブシ	395	落葉広葉樹、北海道～九州
6位	イチョウ	344	落葉樹、中国原産
7位	ユリノキ	280	落葉広葉樹、北米原産
8位	サクラ	239	落葉広葉樹
9位	プラタナス	175	落葉広葉樹、人工交雑種
10位	モミジバフウ	125	落葉広葉樹、北米原産
	その他	482	



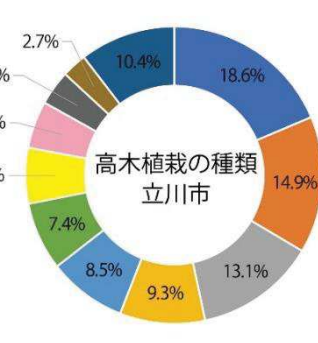
イチョウ
サクラ類
ケヤキ
ハナミズキ
トウカエデ
クスノキ
ナナカマド
日本産カエデ類
モミジバフウ
クロガネモチ
その他
※ 網掛けは常緑樹



ハナミズキ
イチョウ
サクラ類
トウカエデ
ケヤキ
プラタナス類
クスノキ
マテバシイ
ヤマモモ
コブシ
その他
※ 網掛けは常緑樹



イチョウ
ハナミズキ
サクラ類
ケヤキ
トウカエデ
ユリノキ
マテバシイ
クスノキ
プラタナス類
モミジバフウ
その他
※ 網掛けは常緑樹



トウカエデ
ハナミズキ
ケヤキ
カツラ
コブシ
イチョウ
ユリノキ
サクラ
プラタナス
モミジバフウ
その他
※ 網掛けは常緑樹

図 1-1：高木の種類（立川市、東京都、関東、全国）
データは『わが国の街路樹 VIII』（平成 29 年 3 月 31 日時点）

2 本市の街路樹の特性

(1) 本市の特徴ある景観における街路樹

立川市には、ＪＲ立川駅周辺市街地のにぎわいのある景観から五日市街道・玉川上水・残堀川・立川崖線といった緑による自然のうるおいが感じられる景観、江戸時代の新田開発に由来する農地や住宅地が調和した景観が見られます。

街路樹は、こうした本市の特徴ある景観の形成に役立っています。

① ＪＲ立川駅周辺市街地

立川駅周辺は、多摩地域を代表する商業・業務市街地として、にぎわいと活力あるまちの顔となっています。北口大通りには、街路中央に大きなケヤキ並木があり、特徴ある中心市街地の景観を演出しています。南口では、駅前広場にケヤキと街並みが一体となった駅前空間の創出、幹線道路沿いは、様々な店舗が立地しており、大規模な商業・業務ビルを中心としながら、中小規模の店舗などもあり、多様な表情をもつ商業施設となっています。路地では、飲食店などが軒を連ねた界限性を感じられる景観が形成されています。また、立川の顔として整備されたファーレ立川周辺は統一感のある建築物とアートが一体となった魅力的な街並みが形成されています。サンサンロード沿道は、並走するモノレール高架軌道や広い歩行者専用道路からの見通りの良い象徴的な景観を創出しています。



写真：北口大通りの街路樹（ケヤキ）



写真：ファーレ立川周辺の街路樹（ハナミズキ）

② 国営昭和記念公園周辺

国営昭和記念公園は、広大な広場と豊かな緑、花木園、日本庭園などが配置された広がり空間を持っています。公園周辺では大きく広がりある空と街路樹が創りだす象徴的な景観が広がっています。

また、周辺に集積する中低層の工場・倉庫群と国の施設などが街路樹と連携した景観を創出しています。



写真：昭和記念公園沿いの街路樹（ケヤキ）

③ 玉川上水沿い・五日市街道周辺

玉川上水沿いの緑は、玉川上水とともに地域がつながる水と緑の重要な景観をつくっています。玉川上水沿いの緑道に植栽された緑は、水の流れとも調和した地域の重要な緑となり、「玉川上水風致地区」、「玉川上水歴史環境保全地域」に指定されています。

また、五日市街道沿いに、屋敷林、ケヤキ並木などが多く残っており、豊かな緑とともに新田開発の趣が感じられる貴重な景観が「五日市街道風致地区」に指定されています。これらは、土地利用の転換などにより沿道型店舗や中高層住宅なども見られますが、武蔵野の面影が残った景観を創出しています。



写真：玉川上水沿いの緑地

④ 残堀川沿い

残堀川沿いは、河川に沿って見通しの良い景観や、水と緑が連続する景観が見られます。

残堀川の上に張り出したサクラの枝葉は、川の自然と一体となり見事な景観を創出しています。



写真：残堀川沿いのサクラ並木

⑤ 崖線周辺

国分寺崖線につながる川越道緑地の緩やかな斜面には、緑豊かな雑木林が広がっています。街路樹はこのような各地に残る樹林の緑と一体となって地域の緑の景観を創出しています。

立川崖線は、武蔵野台地の地形を顕著に表す崖上の地形に自然の樹木が植生し、緑の帯として、重要な景観をつくりだしています。



写真：国分寺崖線上にある緑地

⑥ 農地と住宅地の調和した空間

市北西部に多く見られる畑作を中心とした農地と宅地開発による戸建て住宅などが混在しています。農地と住宅地による街並みの中で、街路樹は周辺の農地や緑地と調和した景観として地域の緑の軸を形成しています。



写真：農地の中の街路樹

⑦ 旧集落の趣を残す住宅地

古くから集落が形成されてきた柴崎町、錦町周辺では、歴史的な資源や旧街道の雰囲気を残す石垣や生け垣など歴史や文化の趣ある景観が見られます。街路樹は沿道の植栽や地域の樹林とともに、地域の特徴として、心やすらぐうるおいある街並みを創出しています。



写真：柴崎町、錦町周辺の街路樹

⑧ 多摩都市モノレール沿道

多摩都市モノレール沿道は、軌道高架下の空間に植栽することで連続した緑の景観を創出しています。

また、本市を南北に貫く多摩都市モノレール沿道は、それぞれの地域で重要な景観要素となっており、駅前周辺ではにぎわい空間として活用され、その他の地域でも周辺の景観に調和した特徴的な景観を創出しています。



写真：モノレール高架下の緑地

⑨ 幹線道路沿道

幹線道路沿道では、沿道型店舗や屋外広告物などにより多様な色彩がみられる景観となっています。計画的に整備された幹線道路沿いでは、大規模な敷地に植栽された樹木などと一緒に広がりを持った緑の景観を創出しています。



写真：幹線道路沿いの街路樹

⑩ 大規模な団地

市内の大規模な団地は、中層建築物を中心とした住宅団地で、広いオープンスペースや樹木、街路樹などが計画的に配置され、良好な景観を創出しています。団地沿いの道路では、ケヤキ並木などの街路樹により豊かな緑に覆われたうるおいあふれる景観を創出しています。



写真：団地沿いの街路樹